

令和2年教育委員会 第7回定例会

1 日 時 令和2年7月30日(木) 13時30分開会 18時20分閉会

2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室

3 出席委員 教育長 林 秀 樹
教育委員 笹 谷 純 代
教育委員 小 澤 俊 文 夫
教育委員 荒 田 純 司
教育委員 常 見 幸 司

4 欠席委員 なし

5 出席職員 教育部長 森 貴 仁
教育部次長 松 井 宏 幸
学校教育支援室長 大 山 倫 生
学校給食センター所長 山 廣 伸 幸
学校教育支援室主幹(生徒指導・特別支援担当) 篠 崎 大 作
学校教育支援室主幹(教育課程・研修担当) 谷 口 剛
学校教育支援室主幹(学務担当) 吉 田 健 一
教育部主幹(市立学校適正配置担当) 島 谷 和 大
教育総務課長 成 田 和 陽
施設管理課長 柿 岡 佳 憲
生涯スポーツ課長 富 樫 誠
生涯学習課長 山 澤 亮 司
図書館副館長 石 塚 則 子
文学館・美術館副館長 小 林 由 美 子
総合博物館副館長 井 上 雅 博
教育総務課総務係長 森 田 裕 規
教育総務課総務係 田 中 康 平

6 傍聴人 なし

7 議 題

議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案

議案第2号 博物館協議会委員の任命案

議案第3号 市立小樽美術館協議会委員の任命案

- 議案第4号 小樽市社会教育委員の委嘱案
議案第5号 学校運営協議会委員の任命案
議案第6号 令和2年度小樽市奨学生の決定案
協議第1号 令和2年度教育委員会の事務の点検及び評価報告書案について
協議第2号 令和2年度教育費補正予算案について
報告第1号 新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について
報告第2号 令和3年度使用小樽市中学校用教科用図書の答申について
その他 市議会第2回定例会について
寄附採納について

8 議 事

林教育長 ただいまから、教育委員会第7回定例会を開会いたします。

本日の会議の議事録署名委員ですけれども、常見幸司委員を御指名させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

はじめに、お諮りいたします。「議案第6号 令和2年度小樽市奨学生の決定案」は会議規則第13条第1項第1号により、「協議第2号 令和2年度教育費補正予算案について」は同項第3号により、「報告第1号 新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について」及び、「報告第2号 令和3年度使用小樽市中学校用教科用図書の答申について」は同項第5号により、それぞれ非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 では、そのように進めさせていただきます。

それでは、「議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案」の説明をお願いします。

議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案

図書館副館長 「議案第1号 市立小樽図書館協議会委員の任命案」について御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、市立小樽図書館条例第7条の規定により設置しております図書館協議会委員10名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を任命するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、裏面が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表記しております。交代する委員であります、北海道新聞社小樽支社長「中川 充子」氏が6月22日付け、人事異動により退任し、後任に新小樽支社長「相原 秀起」氏を委員に任命したいと思います。なお、任期は前任者の残任期間である令和3年7月25日までとなります。

以上、本任命案について御審議のほどお願ひいたします。

林教育長 それでは、ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ございますでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。
北海道新聞社の支社長の異動に伴っての交代となります。
それでは本件を了承したいと思います。
続きまして、「議案第2号 博物館協議会委員の任命案」について説明をお願いします。

議案第2号 博物館協議会委員の任命案

博物館副館長 「議案 第2号 博物館協議会委員の任命案」について御説明いたします。

博物館協議会委員は2年の任期となっておりますが、来る8月1日に任期が満了となることから、新たに委員を任命するものでございます。総合博物館条例第7条の規定に基づき、再任する方6名と、博物館の運営に関して深い関心があり、各方面において御活躍され、博物館の将来について御意見を頂戴できる方として、新たに3名に御依頼し、承諾を得られました。

お手元に配布しました資料の2枚目、「博物館協議会委員名簿」を御覧ください。新任の方は、お一人目はJR小樽駅長の「加藤 維大」様、二人目は北海道大学大学院理学研究院准教授の「川本 思心」様、三人目は小樽市教育研究所の「森 眞由美」様でございます。なお、任期につきましては、令和2年8月2日から令和4年8月1日までの2年間となっております。こちらの9名の委員の任命について、御審議をお願いしたいと思います。

以上でございます。よろしく願いいたします。

林教育長 ただ今の説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。
それでは本件を了承したいと思います。
続きまして、「議案第3号 市立小樽美術館協議会委員の任命案」について説明をお願いします。

議案第3号 市立小樽美術館協議会委員の任命案

美術館副館長 議案第3号 市立小樽美術館協議会委員の任命案について、御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、市立小樽美術館条例第16条の規定により設置しております美術館協議会委員10名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を任命するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、裏面が旧委員の一覧表になってお

り、交代する委員を太字で表記しております。交代する委員であります、北海道新聞小樽支社「中川 充子」支社長より退任届けが提出されたため、後任として、「相原 秀起」現支社長を委員に任命したいと考えております。なお、任期は、前任者の残任期間である令和3年10月31日までとなります。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

林教育長 本件に関しまして、御意見・御質問等ございますでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。図書館と同様の事案でございます。
それでは本件を了承したいと思います。

続きまして、「議案第4号 小樽市社会教育委員の委嘱案」の説明をお願いします。

議案第4号 小樽市社会教育委員の委嘱案

生涯学習課長 「議案第4号 小樽市社会教育委員の委嘱案」について御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、社会教育法第15条の規定により設置しております、社会教育委員13名のうち、1名の委員に交代がありましたので、この後任を委嘱するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、2枚目が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表記しております。交代する委員であります、学識経験者の北海道新聞社小樽支社支社長の人事異動により、「中川 充子」氏から委員辞任の申し出がありました。後任として、同社の新小樽支社長である、「相原 秀起」氏への委嘱を提案するものです。なお、任期は、前任者の残任期間である令和2年10月3日までとなります。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いをいたします。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。

それでは本件を了承したいと思います。

次に、「議案第5号 学校運営協議会委員の任命案」について、説明をお願いします。

議案第5号 学校運営協議会委員の任命案

学校教育支援室主幹（学務担当） 議案第5号「学校運営協議会委員の任命案」について御説明いたします。

3月の教育委員会第3回定例会において、稲穂小学校学校運営協議会委員11名を任命い

ただいておりますが、委員のうち、対象学校の運営に資する活動を行う者として任命しております「石森 由美子」氏から辞任の申し出がありましたので、後任として、「石川 美樹」氏を任命するものです。1枚おめくりいただきますと、表面に新委員名簿、裏面が旧委員名簿となっております。任期は前任者の残任期間であります令和4年3月31日までとなります。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 それでは本件に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いをいたします。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。

それでは、本件を了承したいと思います。

続きまして、「協議第1号 令和2年度教育委員会の事務の点検及び評価報告書案について」説明をお願いします。

協議第1号 令和2年度教育委員会の事務の点検及び評価報告書案について

教育総務課長 協議第1号「令和2年度 教育委員会の事務の点検及び評価報告書案」につきまして御説明いたします。

教育委員会には、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、また、学識経験者の意見を伺い、その結果を議会に提出するとともに公表することが平成20年度から義務付けられており、本年度は、令和元年度の事務につきまして、案を作成いたしました。報告書案につきましては、お手元の資料のとおりですが、記載内容が相当多くなっておりますので、本日は全体の構成についてのみ、簡単に御説明いたします。

表紙をめくっていただき、目次を御覧ください。

「はじめに」のあとの2ページから8ページまでは、「点検及び評価の対象」、「教育委員会の活動状況」、「総合教育会議の開催状況」について掲載しております。

9ページから33ページまでが、「事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を12項目に分類して記載しております。今まで各評価項目が第6次総合計画、学校教育推進計画、社会教育推進計画のどの部分に位置付けられているか示していた部分（上の左右囲み）を、第7次小樽市総合計画、小樽市教育推進計画に置き換え、区分等見直したところ です。

次に、34ページになりますが、後日いただく予定の「学識経験者の方からの御意見」と、最後に参考法令等を昨年と同様に掲載したいと考えております。

参考としまして、平成30年度の事務に関して、昨年、学識経験者からいただいた御意見を受け、令和元年度にどのように取り組んだのかを一覧にして添付しております。本日、御協議いただいた上で修正を行ない、学識経験者の御意見を加えた形で、あらため

て、議案として御審議いただきたいと考えております。また、9月に開会予定の市議会第3回定例会に合わせて議会に提出するとともに、ホームページへの公表も予定しております。なお、御意見をいただく学識経験者につきましては、今年度も、昨年度に引き続き小樽商科大学の先生と市P連会長にお願いしたいと考えております。

本日は、各担当職員が出席しておりますので、忌憚のない御意見・御質問をいただければと考えております。

以上、御協議の程よろしくお願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。

笹谷委員 全体の感想としまして、数字で示されているものが多いのですけれども、必ずしも全て数字ではなく、「この期間にはこういったものに取り組み、今年度は重点をそちらからこちらに移した取組をしました」といった報告もあっても良いのではないかという印象をもちました。例えば、27ページにある「取組の状況」の部分が、どのページも数字で表現されているのですが、実際は数字だけではないと思いますので、そのあたりは取組と成果とかは今後の取組方法とかでも書かれているかと思いますが、単に数字だけのことではないのではないかと思います。例えば(27ページ「取組状況」の)上から2つ目3つ目ですが、「子どもプラン協議会事業(子どもセンター)」と「生涯学習情報の提供」がすべて「年4回発行(更新)」と毎年同じ数字ですが、こういったことを表現するよりは、「今年はこういったことに重点を置きました」などと表現したほうが中身をより理解しやすいのではないかと思います。また、下から3つ目の「家庭教育講座」がすべて「小樽わくわくネットワークに移行」と書かれていますが、これはこのように表記する必要があるのだろうかと思います。

あと、細かい話になりますが、18ページ【5】健やかな体の育成(学校給食)の(主な取組と成果)2つ目に、研修会の参加人数が16人と表記があるのですが、単に16人が参加しましたと書かれていてもわかりにくく、給食の職場研修会、職場に係る方々の母体数何人で、そのうち何人が16人という数字なのかを表現するとよりわかりやすいかなと。この16人が全体の数字なのか、一部の数字なのかはわかりにくいと思いました。

もう一つ、12ページの「点検及び評価の結果による今後の取組方向」の4つ目、2行目に「小樽市PTA連合会等との連携を強化し」とありますが、「主な取組と成果」(6【情報教育の推進】(1)2行目)では「小樽市PTA連合会との協議を通じて」とあり、後に「等」が1文字加わったということは、他の団体との連携も考えているのでしょうか。

教育総務課長 1点目の生涯学習の関係について、年度ごとの記載がまったく変わっていないことをまず、生涯学習課長から。

生涯学習課長 御指摘いただいた部分が、毎年同じような表記が続いていることは、これまでの事務点検評価の内容をそのまま転記してきた経緯がありますので、もう少しわかりやすい内容で記載できるかを検討したいと思います。

教育総務課長 これに限らず、他にも同じような前例踏襲の形で記載されている部分がある場合は見直します。今回の事務点検評価の目的が、PDCAサイクルで改善していくというものでありますので、毎年表記が同じようなものについて、もう一度全体を見直してまいりたいと思います。

学校給食センター所長 研修会の部分についてですが、かつて直営調理員だった時代はかなりの人数が参加していたのですが、平成29年からは直営調理員がなくなりましたので、主に事務方、栄養職員となっております。また、昨年度につきましては、給食センター職員12名のうち10名が参加、そして残りの6名については教育委員会の事務方に参加いただいております。幅広く衛生について学んでいただく機会と捉えておりますので、記載方法等を検討していきたいと思います。

林教育長 調理員は対象ではないということですか。

学校給食センター所長 委託調理員については、別途毎月研修して報告を受けております。

林教育長 調理員は対象でないのなら、ここは書き方が昔のままではないか。昔、直営で西陵中学校にあった頃は、直営（調理員）の人もいたので調理員ということになるのかもしれないけど、もしないのであれば、ここは書き方を工夫したほうが良いのではないか。

学校給食センター所長 そうですね、来年度以降は考えたいと思います。

学校教育支援室主幹（生徒指導・特別支援担当） 12ページの部分については、新型コロナウイルス感染症に係り来年度に向けて医師会や保健所等で、いわゆるスマートフォンやタブレットでインターネットを使っていくということを鑑みて、見直しをしていくということで、この等については医師会「保健所」などに色々な御意見をいただきながら次年度に向けて変えていくという意味合いでございます。

林教育長 それと、今やっている取組と今後の方向性は少し変えていこうと考えているということですか。

学校教育支援室主幹（生徒指導・特別支援担当） はい。これまでのものが馴染まないということで、見直していくという考えです。

林教育長 （各委員へ）いかがでしょうか。

笹谷委員 そのあたりのニュアンスが感じられるように表現できないでしょうか。そのあたりが説明を聞かない限り伝わってこないと思います。

林教育長　　そうですね。少し検討してみてください。他にございますでしょうか。

小澤委員　　26ページ「主な取組と成果」2(1)③の「家庭教育支援事業（小樽わくわく共育ネットワーク）」という部分で、2行目「親子の交流促進等の取組を行っています。」とあり、私
の見落としがあれば別ですが、ここは取組と成果を書く部分なのに、ここだけが文末の表記
が現在形です。次の項目の「点検及び評価の結果による今後の取組方向」では「〇〇を行っ
ていきます」と表記されていて、前と次とを上手くつなぎ合わせると主な取組と成果になる
のではないかと思ったのですが、その点を検討いただければと思います。

生涯学習課長　　文末の表記も含めて、表現は見直しをしたいと思います。

林教育長　　そうですね。ここは表現を工夫しないとダメですね。
小澤委員、他にございますでしょうか。

小澤委員　　(なし)

林教育長　　(各委員へ) 他にございますでしょうか。

各委員　　(なし)

林教育長　　よろしいでしょうか。

今回、新しい計画になって初めてということで、半分は前の計画を踏襲している部分で、
年が明けて新しく計画になった部分とがあって、今回を機会に新しい新規事業だとかをキチ
ンと入れていこうということと、先ほどの記載例にもあるように途中で変化がなくなってし
まっている表記も見受けられるので、そういったものの整理も併せてもう一度点検してみたい
と思います。

それでは、本件を終了させていただきます。

次に、その他の報告で、「市議会第2回定例会について」説明をお願いします

その他 市議会第2回定例会について

教育部長　　小樽市議会第2回定例会につきまして御報告いたします。

まず、お手元の資料の表紙をめくっていただき目次を御覧ください。

令和2年第2回定例会は、6月9日に本会議が開催され、市長から議案の提案説明があり
ました。その後、6月15日から17日にかけて代表質問及び一般質問が行われ、6月18
日から22日にかけて予算特別委員会、6月23日に総務常任委員会、25日に公共施設の
再編に関する調査特別委員会が開催され、6月30日の本会議をもって終了いたしました。
以下、教育委員会に係る質疑の概要について報告いたします。

まず、代表質問につきましては、1ページ、自民党の松岩議員から、下段、「3教育問題に

ついて」ということで、2ページの上段「学びの保証に向けての取り組み」に関して御質問があり、教育長より「今後措置される感染症関係予算を活用し、対策を強化するとともに、配置される人材の活用により、児童生徒の教育環境のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。」と答弁をしております。

次に、2ページ、共産党の丸山議員から、「2小中学校の休業要請について」ということで、3ページ下段「小中学校全員にタブレット端末が行き渡るのはいつごろか」に関して御質問があり、4ページ、教育長より「一括調達に限らず分割調達も含め、さらに情報収集に努めるなど、少しでも早く整備できるよう、取り組んでまいりたいと考えております。」と答弁をしております。

次に、6ページ、公明党の秋元議員から、「(2) 令和2年度小樽市一般会計補正予算について」ということで、「⑦今後、地元食材の提供機会を増やしていくのか。」に関して御質問があり、教育長より「今年度の事業成果を踏まえ、できる限り地場産品の提供機会を増やし、魅力ある給食づくりに努めてまいりたいと考えております。」と答弁をしております。

次に、8ページ、立憲・市民連合の佐々木議員から、9ページの下段「5教育子育て関係について」ということで、10ページ、「児童生徒又は教職員の感染が判明した場合の対応について、教育委員会としてどのように判断するのか。」に関して御質問があり、教育長より「地域一律ではなく、学級単位、学年単位又は学校全体の臨時休業を判断いたします。」と答弁をしております。

次に、一般質問につきましては、12ページ、立憲・市民連合の面野議員から、「文化団体へのサポート」について、13ページ、自民党の山田議員から、「新型コロナウイルス感染症による児童生徒の影響について」、14ページ、共産党の高野議員から、「学校給食について」、16ページ、公明党の横尾議員から「学校の対応について」、19ページ、自民党の須貝議員から、「教育関連について」、それぞれ御質問がありました。以上の詳細は1ページから20ページに記載のとおりとなっております。

次に、各委員会の質疑についてですが、まず、21ページからの予算特別委員会では、6名の委員から御質問がございました。

最初に、21ページ、自民党の松岩委員からは、「スポーツ・文化活動の振興について」、次に、24ページ、公明党の横尾委員からは、「学校の対応について」ということで、中段、「扇風機の効果的な使用方法について」、次に、25ページ、中段、共産党の高野委員からは、「学校給食について」、次に、26ページ、立憲・市民連合の面野委員からは、「教育用端末整備事業費」、次に、27ページ、公明党の秋元委員からは、「GIGAスクールについて」、次に、同じく27ページ、下段、自民党の中村吉弘委員からは、「スポーツ大会等の実施基準について」、それぞれ御質問がございました。以上の詳細は21ページから28ページに記載のとおりとなっております。

次に、28ページからの総務常任委員会になりますが、教育委員会から、「公立高等学校配置計画案令和3年度から令和5年度について」、「小樽市学校施設長寿命化計画の策定について」を報告し、質疑では4名の委員から御質問がございました。

最初に、28ページ、共産党の酒井委員からは、「陳情第16号一人一台タブレット支援方について」、次に、30ページ、公明党の松田委員からは、「臨時休業による影響について」、

次に、31ページ、立憲・市民連合の佐々木委員からは、「中学校の柔道の授業について」、次に、32ページ、無所属の中村岩雄委員からは、「歴史・文化資源について」、それぞれ御質問がございました。以上の詳細は28ページから33ページに記載のとおりとなっております。

次に、33ページからの「公共施設の再編に関する調査特別委員会」の質疑についてですが、1名の委員から質問があり、33ページ、共産党の丸山委員からは、「生涯学習プラザについて」御質問がございました。以上の詳細は33ページから34ページに記載のとおりとなっております。

報告は、以上でございます。

林教育長 それでは、ただいまの報告に関しまして御質問・御意見等ございますでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 よろしいでしょうか。それでは本件を終了させていただきます。
続いて、「寄付採納について」、説明をお願いします。

その他 寄付採納について

教育総務課長 寄付が8件ございましたので、御報告いたします。

1件目は、「北海道キリンビバレッジサービス株式会社」様から、図書館に対し図書18冊、26,800円相当を御寄贈いただきました。図書館の正面玄関に設置している同社の自動販売機の令和元年度売上げから1本につき10円分の図書をいただいたものでありますが、平成25年度から毎年いただいております。今回で8回目、総額は25万1,650円となっております。

2件目は、「小樽漕艇協会」様から、小樽勝納漕艇研修センター利用者の利便性向上のため、同センターの簡易水洗化工事一式、49万5千円相当を御寄贈いただきました。同センターの女子トイレが和式汲み取り式のため、以前より利用者から洋式・水洗化の要望があり、今回の寄付に至ったものです。

3件目は、「社会福祉法人小樽市社会福祉協議会」様から、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季に授業を実施するため、北陵中学校生徒の熱中症等の予防にと、扇風機8台、5万1,920円相当を御寄贈いただきました。

4件目は、「公益社団法人小樽法人会」様、「小樽地方納税貯蓄組合連合会」様から、市内各学校の新型コロナウイルス感染症予防のためにと、手洗い用液体石けん、18kg、29個、34万円相当を御寄贈いただきました。

5件目は、「濱崎 哲也」様から、図書館に対し、図書34冊、5万円相当を御寄贈いただきました。濱崎様は図書館をよく利用されていることから、日ごろの感謝の気持ちを込めて、図書充実のため役立ててほしいとのことで、昨年も1万円相当の図書の寄付をいただいております。

裏面を御覧ください。6件目は、「山田 晃弘」様から、図書館に対し、図書36冊、5万円相当を御寄贈いただきました。山田様も図書館をよく利用されていることから、日ごろの感謝の気持ちを込めて、図書充実のため役立ててほしいとのことでした。

7件目は、「竹生 直矢」様から、忍路中学校の新型コロナウイルス感染症予防のためにと、次亜塩素酸水10L、9,900円相当を御寄贈いただきました。竹生様は同校生徒の保護者であったことから寄付に至ったものです。

8件目は、「川上 精子」様から、図書館児童室、休憩コーナー、バルコニーの改修工事、授乳室の整備、備品の交換、1,699万5千円相当を御寄贈いただきました。本日、配布いたしました図書館内部の写真を御覧ください。児童室、休憩コーナーなどが今回、このようにきれいに改修されております。なお、改修工事後のオープンセレモニーを8月6日(木)午後1時半から行いますので、御都合がよろしければ御臨席いただければと思います。

報告は以上でございます。

林教育長 たくさんの御寄附をいただきました。川上精子様の関係ですけれども、すごく高額な寄附で、元旭ヶ丘中学校、今の西陵中学校の教員だった方で、今はアメリカに在住されている方からの御寄附だと聞いております。本当に、大変ありがたいお話だなと思っております。何か御質問等ございましたらお願いいたします。

各委員 (なし)

林教育等 よろしいでしょうか。
それでは、本件を終了させていただきます。
それでは、ただ今から非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者の皆様方、おられましたら御退席をお願いいたします

<非公開の審議開始>

協議第2号 令和2年度教育費補正予算案について

教育総務課長から、「令和2年度教育費補正予算案について」説明し、全委員一致により決定した。

報告第1号 新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について

教育総務課長及び学校教育支援室主幹(教育課程・研修担当)から、「新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について」説明し、全委員一致により了承した。

林教育長 それでは、ただ今から教科用図書に関する案件の審議に入りますので、関係者以外の皆様は御退席をお願いします。

報告第2号 令和3年度使用小樽市中学校用教科用図書の答申について

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当）及び各教科小委員長から、「令和3年度使用小樽市中学校用教科用図書の答申について」説明し、全委員一致により了承した。

林教育長 それでは、ただ今から個人に関する案件の審議に入りますので、関係者以外の皆様は御退席をお願いします。

議案第6号 令和2年度小樽市奨学生の決定案

学校教育支援室主幹（学務担当）から、「令和2年度小樽市奨学生の決定案」を説明し、全委員一致により了承した。

<非公開の審議終了>

林教育長 以上で、教育委員会第7回定例会を閉会いたします。